

一般質問通告一覧表

令和3年9月

【一般質問】9月1日（水）、2日（木） 各日午前9時～

順番	会派名 (質問制限時間)	質問者	質問項目
1	いなべ未来 (240分)	岡 英昭	<p>1. 市職員構成について</p> <p>(1) 令和3年4月1日現在の正規職員数と会計年度任用職員数は。 (2) 会計年度任用職員が占める割合が大きい部署は。 (3) 職員定員管理の適正化とは、具体的にどんなことを行っているのか。 (4) 早期退職者の募集の仕方、その流れは。 (5) 再任用職員の再就業後の働き方は。(配属部署の傾向、ポスト、給与・厚生面等) (6) 職員（会計年度、派遣、再任用等）の業務遂行能力の向上を図る取組は。 (7) 改正地方公務員法の成立により、令和5年度から定年が段階的に65歳まで引きあがることが決定した。今後の計画と職員定数、財政面の変化は。</p> <p>2. 少子高齢化社会における学校教育、生涯教育の課題</p> <p>(1) 幅広い世代が参加・交流できるよう取り組んだこれまでのスポーツ施策、大会は。また、その必要性についての考えは。 (2) 総合戦略や要覧で述べているような高齢者スポーツ団体への支援施策の実績は。 (3) 少子高齢化により、スポーツ少年団や一般スポーツクラブ等が休会や廃部に追い込まれている。市が管理運営している体育施設で現在、大安球場のナイターが使用中止となっているが、今後、施設の使用制限や統廃合は検討されているのか。 (4) 市民の健康増進の観点から、生涯スポーツの重要性と促進に対する考えは。 (5) 児童生徒の推計として令和10年には市内全児童数は2,000人を、中学校生徒数は1,000人を割り込む寸前で、大安中学校以外の3校は全校生徒200人台となり、特別支援学級も含め全学級数も1桁と激減する。特に丹生川、治田、十社の各小学校は全校児童100人を切る数である。今後の小学校の統廃合計画は。また、推計をもとにした対応策は持っているのか。 (6) 一方、増加する障がい児・生徒への対応でもあり、保護者の進路選択肢が増える、と答弁があった旧東藤原小学校への特別支援学校誘致の進捗状況は。 (7) 生徒減少下、中学校（各校）のクラブ数に変化はあるか。 (8) 今後の部活動の展望、あり方について、教育委員会で協議していることはあるか。</p> <p>3. 旧ドロマイト鉱山跡地（野遊びSDGs推進事業）について</p> <p>(1) 海外観光客、富裕層向けのグランピング拠点を始めとするリゾート計画の現段階での進捗状況は。 (2) 農業公園（梅林公園）という選択肢も出たが、開発は両立するのか。 (3) 岩石が露出する川底のような登坂道路の大改修整備が必要と考えるが、地元区内の通過は無理と思われる。山頂へのルート計画は。 (4) 宇賀溪—旧ドロマイト鉱山—青川峡—農業公園（梅林公園）の繋がりによる地域回遊の開発は可能と考えているか。 (5) 主体企業の旧ドロマイト鉱山、農業公園（梅林公園）への開発意欲、熱意の現状は。</p>

順番	会派名 (質問制限時間)	質問者	質問項目
2		鈴木 順子	<p>1. 子どもの権利を守るために</p> <p>(1) 「子どもの権利条例」の制定についてのお考えは</p> <p>(2) いなべ市総合計画における取り組みについて</p> <p>2. 「元気未来都市いなべ」について</p> <p>(1) 現状について（進捗状況、連携体制）</p> <p>(2) 将来の形について（目指す姿、具体的な施策）</p>
3	いなべ未来 (240分)	原田 敬司	<p>1. 高齢者・障がい者・若者など交通弱者に優しい福祉バス運行を</p> <p>(1) 令和2年5月にダイヤ改正になったが、見えて来た課題はあるか。</p> <p>(2) 朝に病院や買い物に出ると、帰りに待ち時間が長かったり、夕方まで帰ってこられないとの声が聞こえ改善を求むが、市の見解は。</p> <p>(3) 高校の始業時間に間に合う、6時間目終了後の帰宅時間に主だった駅で福祉バスを利用できるようにして欲しいが、若者の通学（保護者の送迎）支援策についてどのように考えているのか。</p> <p>(4) (3)について、運行シフトについてシルバー人材センターや三岐鉄道と協議しているのか。</p> <p>(5) 次のダイヤ改正はいつを予定しているのか。</p> <p>(6) 三岐鉄道両線のパーク＆ライドにおける利便向上策のため、駐車場を探しているとのことであったが、進展はあったか。</p> <p>(7) 福祉バスの試乗会やそれに因んだ関連イベント開催など福祉バスの利用促進に向けて対策を打つべきと考えるが、見解は。</p> <p>(8) 免許証返納者に例えば阿下喜温泉回数券を配布するなど支援策を打ってはどうか。</p> <p>2. 台風・洪水における防災・減災対策を検証・強化せよ。</p> <p>(1) 台風被害や局所的豪雨が多くなっていると思うが、市の被害状況の現状推移は。</p> <p>(2) 有事の際に初動となる市の職員の訓練はできているか。</p> <p>(3) 防災倉庫は有事にどのような機能を持たせるように設置されているのか。</p> <p>(4) 防災・減災に向けて、最低限自治会・市民に備えて欲しいことは何か。</p> <p>3. 行政のワンストップサービスは維持できているか</p> <p>(1) 市民から市役所に問い合わせた時に部署をタライまわしにされるとの声を聞くが満足度調査はしているか。</p> <p>(2) 市長は合併以来ワンストップサービスを行政サービスの特色としてきたが、現状をどう捉えているか。</p> <p>(3) 支所機能を今後どうしてゆくののか。</p>
4		位田まさ子	<p>1. いなべ市都市計画について</p> <p>(1) 員弁町の市街化区域・市街化調整区域の当時の状況と目的は。</p> <p>(2) 約50年前に員弁町に施工された調整区域と中部圏開発整備法（昭和41年）の関連とその当時の他町（大安町・北勢町・藤原町）の状況は。</p> <p>(3) 国への調整区域の解除を求める方法があるか。</p> <p>(4) 員弁町の市街化調整区域での緩和措置（平成14年三重県条例第67号）について</p>

順番	会派名 (質問制限時間)	質問者	質問項目
4			<p>(5) 農業振興地域整備法第3条第1項第1号と調整区域との関連は。</p> <p>(6) 東海市長会あてに要望書を提出して頂いたが、その後の経過は。</p> <p>(7) 非線引きの大安町・北勢町を「いなべ都市計画区域」と指定されたが今後、全市が調整区域になることもあるのか。</p> <p>2. 学校給食の重要性について</p> <p>(1) 長期化するコロナ過で、黙食する児童・生徒が給食を楽しみにするための工夫は</p> <p>(2) 児童・生徒・保護者に対し、給食の満足度調査(量・質・メニュー)を聴く機会はどれくらいの頻度で行っているか。また、調査結果にどのように対応しているか。</p> <p>(3) アレルギー食などメニューに対する配慮は</p> <p>(4) 給食の時間は、教師にとっても児童・生徒の表情を見渡す良い機会と考える。どのようなところに注意を払い、児童・生徒の様子を観察しているか。</p>
5	創風会 (180分)	篠原 史紀	<p>1. 「しっかり市民に伝え、市民の声を聴く」広報・広聴事業の拡充を</p> <p>(1) 広報事業について(効果、課題、市の見解)</p> <p>(2) 広聴事業について(現状・実績、市の見解)</p> <p>2. 地方創生施策の移住・定住促進事業に市として力を入れるべき</p> <p>(1) 市は、国の地方創生事業を多方面で活用し、結果、いなべ市のブランド化は進み、知名度、関係人口も確実に増加したことは大いに評価している。基本的な質問をするが、市の多様な地方創生事業の最終的且つメインの目標は何か。その目標の重要性についての見解を。</p> <p>(2) 移住希望者に対してきめ細かな対応をしてきた地域おこし協力隊員が退任したが、隊員の実績に関して市の見解は。また、議会でも議論されてきたが、今後、隊員が行ってきた事業やノウハウをいかに継承し、活かしていくのかを再度確認する。</p> <p>(3) 東海環状自動車道のインターチェンジ開設等の影響もあり、新たな企業誘致や拡充、それに付随した地方経済及び財政基盤の強化に好影響が出ている。民間主導による宅地造成も行われ、人口増の期待もできると思うが、SDGsの観点から、乱開発が懸念されると同時に、新興住宅地に於ける新たな自治会の結成、既成自治会の再編の難しさを考えれば、いなべ市の住民自治の基盤を損なう可能性もある。そうした中、既成集落内の空き家や空き地の利活用に力を入れるべきと考えるが、市の見解は。</p> <p>(4) 都市整備部と農林商工部のコラボレーションによる、いなべ企業と連携したSDGsワークショップは、いなべ市内の子どもたちへのキャリア教育と将来的な定住につながる可能性があり、大変良い取り組みであると評価する。事業スキームと実績、今後の展開を問う。</p>

順 番	会派名 (質問制限時間)	質 問 者	質 問 項 目
6	創 風 会 (180分)	片山 秀樹	<p>1. 不法投棄問題について</p> <p>(1) 不法投棄は夜間に行われることが多いと考えられるがその対策と成果・課題について問う。</p> <p>(2) 昼間に堂々と、業者が穴を掘りそこに捨てて土で埋めて隠すなどの不法投棄が発生していると聞く。どのように対応しているのか。また、今後どのような対策をしていくのか。</p> <p>(3) ペンキ・ガラスの産業廃棄物の不法投棄がありました。警察、市に報告後、犯人が見つからなかった場合、最終的に地主の責任で処分し費用負担は地主が行うわけですが、どういう考え方で被害者が負担しなければならないのか。また市の見解は。</p> <p>(4) 不法投棄は廃棄物処理法 25 条 1 項 14 号、また、他人の敷地に侵入しての場合は刑法第 130 条により犯罪であるが、警察と連携して取り組んでいることはあるか。</p> <p>2. 防災の課題について</p> <p>(1) 市が指定する避難場所には、指定した自治会の住民が全て避難できる十分なスペースを確保しているか。どれくらいの収容率を想定し、避難場所に指定しているか。</p> <p>(2) トイレの問題だが女性・介護の必要な方に対しても十分な対策を考えているか。</p> <p>(3) いなべ市は近隣市町を受け入れることになっているが、広域避難者への非常食はどれくらい備蓄しているのか。</p> <p>(4) 自治会に対し、備蓄品・食の確保について、内容、量など、どのように周知されているか。</p> <p>(5) 避難場所でのコロナ対策はどのように考えているのか。</p> <p>3. 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>(1) 三重県は緊急警戒宣言を発令して対策しているが、市として の見解は。</p> <p>(2) ワクチン接種の実施方法は、65歳以上については予約しなくてよいという近隣市町にはないとても素晴らしい政策を実行した。65歳未満についての接種目標と目標を達成するための方法はどのように考えているか</p> <p>(3) ワクチンを接種するかしないかは個人の責任で判断するのだが、リスクと効果について必要な情報が少ないのではないか。市としての見解は。</p>
7		清水 隆弘	<p>1. 保育の質の確保のために</p> <p>(1) 子ども・子育て支援新制度（活用、評価・見解）</p> <p>(2) 保育の現場の状況（保育士の環境、待遇など）</p> <p>(3) 今後の保育環境について（移管、取組）</p> <p>2. 北朝鮮による拉致問題への市の取り組みは</p> <p>(1) 市の認識及び対策</p> <p>(2) 教育現場での取り組み</p>

順番	会派名 (質問制限時間)	質問者	質問項目
8	政和会 (60分)	西井真理子	<p>1. いなべ市の人権に対する考え方</p> <p>(1)平成20年に「いなべ市人権啓発基本方針」を制定して以降、基本方針を諮問したことは。見直す機会(協議の場)を持っているか。</p> <p>(2)全国で制定されている人権条例の多くが、人に対する思いやりや、お互いに支え合い助け合い、人権を守ろうというあたたかい気持ちを育むことによって、誰もが生きやすい、安心して暮らせるまちづくりを目的としています。 いなべ市においても人権擁護に関する条例を制定する考えは。</p> <p>(3)2020年6月に制定された「性の多様性を認め合う社会を実現するための条例」では、基本理念を定め、市、市民、事業者及び教育に携わる者の責務を明らかにしている。本条例の必要性と人権擁護に関する条例制定の必要性について、考えに相違があるのか、市の考えは。</p> <p>(4)子どもの権利について、市の見解は。</p> <p>(5)ヤングケアラーの実態について、調査は行っているか。</p>
9	日本共産党 いなべ市議団 (90分)	岡 恒和	<p>1. 新型コロナウイルス感染症対策について問う</p> <p>(1)ワクチン接種の現状と課題について</p> <p>(2)施設内感染を抑えるため、保育教育施設、高齢者施設などへの市の支援は、どのように行われているか。</p> <p>2. 市道の安全対策を問う</p> <p>(1)当該道路約2.2kmの道路標示がほぼすべて消失している状況を知ったのはいつ頃か。</p> <p>(2)センターライン、車道外側線などを引き直す場合の費用はどれほどか。</p> <p>(3)死亡事故という重大な事態を受け、早急に対応する必要があると思うがどうか。</p> <p>(4)道路標示については、毎年300万円の当初予算で、またそれを含む交通安全施設整備事業費は毎年1,100万円で固定されている。なぜ実績を反映した予算としないのか。</p> <p>3. 高齢者の認知症予防について</p> <p>(1)介護認定において認知症はどのように評価されているか。</p> <p>(2)いなべ市でも補聴器助成制度について調査、研究する必要があるのではないか。</p>
9		衣笠 民子	<p>1. 財政について</p> <p>今後のいなべ市財政への影響を問う 温水プール、宇賀溪キャンプ場、野遊びSDGs推進事業(グランピング)などこれから指定管理者制度とする事業の管理料、施設維持費、ランニングコストなど市の負担はどれほどになるのか。</p> <p>2. 子どもの健やかな成長を応援</p> <p>(1)子育て世帯の生活意識</p> <p>(2)給食費を無料に</p> <p>(3)子どもの医療費</p> <p>(4)国民健康保険税の子どもの均等割</p> <p>(5)学校トイレ</p> <p>3. 国体とコロナ感染症</p> <p>コロナ感染拡大が全国で過去最大に広がっている。県境を越えた活動の自粛が求められている中、国体が無観客開催された場合でも選手・監督約2万5000人が全国から三重県に集結するとされている。コロナ感染拡大防止にどう取り組むのか。</p>